

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月23日更新

事務事業名	電算システム運用事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	大茂 竜二
	施策	25	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	篤永 晋
	施策の柱	86	情報化の推進			所属班	情報企画班	(内線)	1262
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 16	事業連番 11451	根拠法令	合志市電子計算組織の管理運営に関する規則		成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市ネットワークシステム「基幹系(住民記録、税、福祉情報等)、情報系(インターネット、メール等)」の安定した運用を行う。基幹系システムについては、経費削減等を目的としたASP事業(事業者が設置・管理するサーバにアクセスし、事業者から提供される各種システムを利用するもの)にて平成22年度より運用している。 ・機器、システムの保守・賃貸借契約の締結 ・職員からのトラブル、問い合わせ対応 ・簡易プログラム等の作成 ・法改正等によるシステム導入、システム改修の手続き ・機器、システムの定期的な更新手続き ・電算出力帳票の管理、発注 ・各種消耗品(プリンタ等)の管理
【業務の流れ】	①基幹系業務については民間業者と長期(4年)の利用契約締結。 ②民間業者にシステム保守を委託し、運用管理を行う。 ③情報企画班の職員により業務処理(システムの使用方法や帳票出力処理など)を行う。 ④毎朝及び日曜開庁時のシステムに異常がないかの確認・点検を行う。 ⑤簡易プログラムの作成等により、各種資料を作成する。 ⑥出力帳票の発注・管理、トナーなどの消耗品の管理を行う。
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当、休日勤務手当)、需用費(消耗品費、修繕料、印刷製本費)、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	機器導入後数年を経過し、故障等の対応が増加傾向にある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	・情報系及び基幹系システムの業務処理支援、各種帳票の作成・情報系及び基幹系システムに関する民間業者のシステムエンジニア(SE)に業務処理支援を委託した。 ・消耗品等の在庫管理、帳票の発注・管理を行った。 ・情報系システム更新に係る情報収集、基本検討に着手した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・情報系及び基幹系システムに関する民間業者にシステム保守を委託 ・情報系及び基幹系システムの業務処理支援、各種帳票の作成・情報系及び基幹系システムに関する民間業者のシステムエンジニア(SE)に業務処理支援を委託する。 ・消耗品等の在庫管理、帳票の発注・管理を行う。 ・情報系システム更新及び庁内ネットワークのセキュリティ強化を図る。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 基幹系・情報系システムの保守委託業務数 イ: 端末の稼働台数	予算の主な増減の理由 機器更新及び庁内ネットワークの情報セキュリティ強化対策による増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ア: 基幹系システム・情報系システム イ: 端末	(単位) 件 ア: 基幹系・情報系システムの業務数 イ: 端末台数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 機器及びシステムが常時、障害なく利用できる	(単位) 件 ア: ネットワーク・機器・システムトラブル件数 イ: 不具合・トラブル対応率	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 電算機器・電算システムを安全かつ効率的に利用できているか把握できる。不具合・トラブルが発生した場合、適正に対応することがシステム運用上重要になることから、本成果指標を設定した。また、平成27年度目標値については、平成26年度ネットワーク・機器・システムトラブル件数を基にほぼ同等100件とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 件	82	83	83	83	83	83	83	83	
	イ 台	427	432	427	440	427	427	427	427	
② 対象指標	ア 件	82	83	83	83	83	83	83	83	
	イ 台	427	431	431	440	431	431	431	431	
③ 成果指標	ア 件	111	108	100	67	100	100	100	100	
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	516	1,490	531	6,159	531		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	151,126	143,639	143,319	145,821	251,197	200,000	180,000
		(A) 事業費計	千円	151,642	145,129	143,850	151,980	251,728	200,000	180,000
		(A)のうち指定経費	千円	1,112	1,045	1,443	1,172	2,391	1,200	1,200
		(A)のうち時間外、特勤	千円	1,112	1,045	1,443	1,172	2,391	1,200	1,200
		(B) 人件費計	千円	9,641	22,111	10,358	20,607	9,163	9,163	9,163
トータルコスト(A)+(B)	千円	161,283	167,240	154,208	172,587	260,891	209,163	189,163		
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	5	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	2,420	5,550	2,600	5,550	2,300	2,300	2,300	

事務事業名	電算システム運用事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 システム運用上最重要となっていることから、達成しなければならない。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 機器類を説明書や注意事項に従い、正しく丁寧に扱うことで故障・トラブルを減らすことができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 機器の取扱いや印刷の無駄をなくす等の職員意識で帳票・電算消耗品の発注数を減らすことができるが、年々機器等が古くなるため修理や保守等は必要となる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 保守業務については業者に委託を行っている。また、アウトソーシングについては、情報セキュリティ等に対する課題がある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての住民サービスに支障をきたさないようにシステムの維持管理を行う業務なので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 システムを適正に運用し、住民サービスに支障をきたさないようにすることは市が行うべきことである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成22年度にASP及びネットワーク機器の更新を行なって適切に運用管理を行ってきたが、機器トラブル (故障) が昨年に比べ増加した。部品の消耗によるものが大きい。費用の削減について職員に機器取扱いに関する周知を行なうことで改善を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						